

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 292

事務事業名	県産米ブランド化推進事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	川端 由紀子	内線	256

基本目標		活気に満ちた産業のまち
政策	040102	魅力ある農林水産業の振興
施策		農業の担い手の育成
関連施策		

会計	一般会計	
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業コード	020200	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	長崎県中央農業協同組合、水稻栽培農業者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	米を取り巻く環境の変化に対応するため消費者・市場重視の考え方に立った需要に応じた米づくりを推進して、水田農業の効率化と安定化を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	長崎県中央農業協同組合が実施する下記の事業に対し一部補助を行う。 ・「にこまる」の面積拡大と付加価値米としてのJA米の生産指導、講習会の開催。 ・水稻除草剤比較検討会、刈り取り適期検討会等の開催。		
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 28 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	儲かるながさき水田経営育成支援事業実施要領		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 検討会・講習会開催回数	計画値	14	14	14	8	
		実績値	18	6	8		
	達成度	%	128.6%	42.9%	57.1%		
	②	計画値					
実績値							
成果指標	① 検討会・講習会参加者数	計画値	300	300	300	300	
		実績値	279	305	165		
	達成度	%	93.0%	101.7%	55.0%		
	② 検討会・講習会参加率	計画値	1,744	1,699	1,683	1,653	
		実績値	274	305	165		
	達成度	%	15.7%	18.0%	9.8%		

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	467	467	467	303	303	303	303	0
国庫支出金								
県支出金	233	233	233	233	233	233	233	
地方債								
その他								
一般財源	234	234	234	70	70	70	70	
② 人件費(千円)	874	4,153	1,270	873	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.11	0.06	0.18	0.12	JA米の推進を図る取組を実施する。	JA米の推進を図る取組を実施する。	JA米の推進を図る取組を実施する。	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)		2.00						
フルコスト(①+②千円)	1,341	4,620	1,737	1,176				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度に検討会4回(参加者数55名)及び講習会4回(参加者数110名)を実施した。
事業が抱える問題・課題等	検討会、講習会への参加率が悪く、効率化、安定化に対する考え方がすべての農業者に伝わっていない。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	本市の基幹作物である米を取り巻く環境の変化に対応し、市民需要に即した米づくりを推進するために必要な事業である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	本市農業の基幹は稲作であり、安全で安心できる米づくり、高付加価値米の生産に関する取組みを推進するためには市の適切な誘導や支援が必要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	検討会、講習会の開催回数が少なかったため、参加者数が少なかった。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	環境と調和のとれた米づくりを推進し、減農薬栽培を行ったことで、安全で安心できる米づくり、売れる米産地の育成に効果が発揮され、農業経営の効率化・安定化に効果がある。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
儲かるながさき水田経営育成支援事業実施要領による。							

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	検討会、講習会への参加率を上げるために、実行長を通じ周知徹底を図る。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。